



2018年11月26日

芦屋市議会
議長

中島 健一 様

全日本年金者組合
芦屋支部支部長
田中雅博
芦屋市若葉町

“若い人も高齢者も安心できる”年金制度を求める請願

2016年末「世代間の公平性」「年金制度の持続性」を口実に「年金制度改革関連法」(年金カット法)が強行されました。

年金生活者の7割は年金以外に収入は無く、年金は高齢者の命綱です。

毎年のように年金が削減されたら生活が成り立ちません。

生活保護世帯のうち、65歳以上の高齢者比率は、52.8%に増加しています。

消費税増税、医療、介護の負担増のもと、高齢者の貧困化が急速に進んでおり、高齢期を安心して暮らせる「年金制度」の確立が急がれます。

一方、現役労働者は、2000万人以上が非正規で働いており、年収200万円以下の貧困層が1000万人以上もいる現状があります。厚生年金や共済年金に加入できないだけでなく、保険料が高すぎて国民年金にも加入できず、将来無年金、低年金に陥る危険性があります。

私たちは、国が、若い人も高齢者も安心できる最低保障年金制度の創設をされるよう求め、地方自治法99条の規定による意見書を国に提出されるよう請願します。

請願項目

1. 全額国庫負担による最低保障年金制度を早急に実現してください。

請願紹介議員

森しづか

みせ久美子